

## 開催にあたって

昭和20年（1945年）、アメリカは原子爆弾を広島・長崎に投下し、その後の放射能汚染の影響を含め、20万人を超える尊い命が犠牲になりました。広島・長崎の被爆、そして終戦から77回目の夏を迎えた今、世界には1万3千発にも及ぶ核兵器があります。今年2月には、ロシアがウクライナ侵攻を行い、核兵器使用を示唆するなど、依然として核兵器の存在は人類の生存に大きな脅威を与えています。

このような社会情勢の中、広島の被爆者と高校生が共同制作した絵画を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えていただくため、この特別展を企画しました。

開催にあたり、広島市立基町高等学校、広島平和記念資料館、広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館平和情報ネットワークその他関係者の皆様に多大なるご協力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

枚方市

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会場内ではマスクを着用し、手指の消毒等のご協力をお願いします。

## 枚方市非核平和都市宣言

全世界の平和と安全は、全人類共通の念願であり、よりよい生活を築き、守り、維持していくための基本理念であります。

しかるに、それらの念願、理念に反して、究極戦争の道具である核兵器は、依然として拡充、拡散され、人類の生存に深刻な脅威を与えています。

私たちは、原子爆弾投下による被爆の体験を通して、平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の放棄を誓っています。

地球上から戦争と核兵器をなくすことは、日本国民の責務であります。平和を求め、核兵器廃絶を叫ぶ大衆の声は、ここ数年、時を迫って大きくなってきています。

枚方市は、平和を愛する人達の住む町として核兵器の廃絶、製造設備及び手段の廃棄を訴えて、ここに非核平和都市となることを宣言します。

昭和57年（1982年）12月21日

枚方市 人権政策室

☎072-841-1259 FAX072-841-1700

E-Mail [jinken@city.hirakata.osaka.jp](mailto:jinken@city.hirakata.osaka.jp)

平和資料室特別展

## 高校生が描いた 「原爆の絵」展



『恐怖の中を姉と共に逃げる』 武原 明歩さん 制作  
広島市立基町高等学校 所蔵

現在、枚方市にお住まいの、平和の語り部・森容香さん（82歳）の証言を元に制作された作品。1945年8月6日午前8時15分、爆心地から北へ1.8kmの楠木町。火の手が上がる前に逃げるため、母から「早く逃げなさい」と言われ、姉と手を繋いで逃げる様子。

入場  
無料

8月6日(土)～18日(木)

午前9時30分～午後7時

(金曜休館 土・日・祝・最終日は午後5時まで)

枚方市立中央図書館 1階 平和資料室

(枚方市車塚2-1-1

京阪バス「片鉾・中央図書館」下車すぐ)

# ヒロシマの高校生が被爆体験を絵に描く

広島平和記念資料館では、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの協力を得て、平成19年度（2007年度）から、被爆体験証言者と同校生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。

この取り組みは、被爆者が高齢化するなか、被爆の実相を絵画として後世に残すこと、そして、絵の制作を通して、高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的として行っています。

何度も打ち合わせを重ねながら、1年かけて制作される絵は、当時の惨状を克明に描き出すものであり、また、証言者の記憶や思いに高校生が寄り添い、双方の気持ちを共に伝えるものです。

本特別展では、これまでに制作された作品から選んだ原画1点と複製画約20点を展示します。

『東練兵場からみた巨大な火災』 石田 菜々子さん 制作  
広島平和記念資料館 所蔵



広島県立広島第二中学校2年生二百数十人は、8月6日朝、東練兵場で芋畑の草取り作業をするために集合していた時に被爆し、強烈な熱風でみんな吹き飛ばされた。証言した山本定男さんは割と早く気づき立ち上がって見ると、広島駅の方に、巨大なピンク色に輝く火災がもの凄い勢いで湧き上がっていた。爆心地から約2.5kmの場所。

## 「原爆の絵」制作の流れ

- ① 証言者の被爆体験を詳細に聴き取る。
- ② 証言者が描くイメージ図や、わずかに残る写真資料をたよりに、構図を練る。
- ③ 色を重ねながら、光景を忠実に再現していく。
- ④ 1年の制作期間中、何度も証言者が絵を確認し、直しながら完成を目指す。

『再会』 三戸 奈津美さん 制作  
広島平和記念資料館 所蔵

被爆から3日が経ち、友人と一緒に自宅へ帰る途中、探しに来ていた父と再会した場面。生きて戻ってくることができた実感と喜びを描いた。



平和の語り部 森 容香さん

## 『核兵器のない世界へ』

昭和20年8月6日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下されました。現在は枚方市にお住まいの森容香さん（82歳）は当時5歳。爆心地から1.8kmの自宅で被爆し、惨状を目の当たりにしました。

「朝食をとっていると突然『ピカッ』と光り、『ドンツ』という衝撃とともに気絶してしまいました。気付くと目の前が真っ暗。崩れた家の下敷きになっていました」と話します。森さんの証言がもとになった作品「恐怖の中を姉と共に逃げる」（表紙参照）の原画とともに証言動画をご覧ください。



森 容香さん

広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館  
平和情報ネットワーク

<森さんの証言動画がご覧いただけます>  
[https://www.global-peace.go.jp/picture/pic\\_syousai.php?gbID=1457&dt=220625042247](https://www.global-peace.go.jp/picture/pic_syousai.php?gbID=1457&dt=220625042247)



～長尾西中学校の平和学習動画を上映～

会期中、会場の常設モニターで枚方市立長尾西中学校の生徒会が作成した平和学習動画を上映しています。ぜひご覧ください。

広島平和記念資料館

〒730-0811  
広島県広島市中区中島町1-2  
電話：082-241-4004（総合案内）  
<https://hpmuseum.jp>



広島市立基町高等学校

〒730-0005  
広島県広島市中区西白鳥町25番1号  
電話：082-221-1510  
Fax：082-221-5299  
<https://www.motomachi-h.edu.city.hiroshima.jp>



動画で知る枚方の戦争の歴史

市ホームページでは昭和14年の禁野火薬庫の爆発の体験談などを動画で公開中。ぜひご覧ください。  
<http://www.city.hirakata.osaka.jp/vod/0000034076.html>

